

令和2年度 第47回群馬県中学校新人剣道大会要項

1. 主催 群馬県中学校体育連盟 群馬県教育委員会 群馬県中学校長会  
前橋市教育委員会
2. 後援 群馬県市町村教育委員会連絡協議会 (公財) 群馬県スポーツ協会  
群馬県剣道連盟 上毛新聞社 FM GUNMA 群馬テレビ
3. 期 日 令和2年10月10日(土) 女子団体戦(1~3回戦)  
男子団体戦(1~2回戦)  
令和2年10月11日(日) 女子団体戦(準決勝~決勝)  
男子団体戦(3回戦~決勝)
- |     |         |           |     |           |  |
|-----|---------|-----------|-----|-----------|--|
| 両日  | 開場・役員集合 | 午前 8時00分  |     |           |  |
| 10日 | 女子選手集合  | 午前 8時45分  | 開始式 | 午前 9時30分  |  |
|     | 男子選手集合  | 午前 13時00分 | 開始式 | 午前 13時45分 |  |
| 11日 | 男女選手集合  | 午前 9時00分  | 開始式 | 午前 9時55分  |  |
4. 場 所 10日(土)「宮城体育館」 前橋市鼻毛石町1561  
TEL 027-283-8735
- 11日(日)「ALSOK ぐんま武道館」 前橋市関根町800  
TEL 027-234-5555
5. 試合方法 男子・女子団体戦トーナメントとする。
6. 参加資格 (1) 学校教育法に定める中学校の生徒で、群馬県内の中学校に在籍し、当該学校長の参加許可を得たものとする。  
(2) 上記以外の学校に在籍し、群馬県中学校体育連盟で参加を認め、所在する中学校体育連盟の予選を経て、参加資格を得た生徒。
7. 監督・引率 (1) 参加生徒の監督・引率は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。  
(2) 監督の条件等は、県中体連「運動部活動顧問等の指導中における暴力・体罰・セクハラ等に対する対応」による。
8. 出場制限 男子・女子団体各32校とする。  
(ブロック代表14校+強化指定校8校+予選校数割10校)
9. 参加料 1人 300円  
※10月10日(土)の県新人大会1日目に各郡市出場分をまとめて委員長が払い込みをする。
10. 規 則 竹刀は3尺7寸までとする。(長さ男女114cm以下、重さ男440g  
女400g以上、太さ男25mm以上・女24mm以上、ちくとう部直径値男  
20mm以上・女19mm以上とする)。  
ただし、当日検量は実施しない。その他は全日本剣道連盟剣道試合・審判規則による。
11. 審 判 中体連剣道部審判部・高体連剣道部審判部・県剣道連盟関係者
12. 表 彰 1~3位のベスト4に賞状とメダルを与える。ベスト8に敢闘賞を与える。
13. 申し込み・連絡責任者  
(1) 期 日 令和2年9月25日(金) 必着  
(2) 申込先 各郡市委員長  
(3) 各郡市委員長は、10月2日(金)までに事務局に提出  
事務局 〒371-0231 群馬県前橋市堀越町1152  
TEL 027-283-2004  
前橋市立大胡中学校 廣瀬 文彦  
※所定の用紙にて、郵送を原則とする。
14. そ の 他 その他については、大会細則・確認事項を参照すること。不明の点に関しては、会場に直接問い合わせることなく、大胡中廣瀬に問い合わせること。

## ○新型コロナウイルス感染予防対策について

- ・全剣連・群剣連の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインにある、飛沫飛散抑制効果の高い面マスクとフェイスガードの両方を全選手が着用する。
- ・8月27日に全剣連より出された「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」の中の、【暫定的な試合・審判の方法】という項目の「3」につばぜり合い、引き技の記載を受けて、「試合者はつばぜり合いを避ける」よう指導し、「やむを得ずつばぜり合いとなった場合は、すぐに分かれるか引き技を出すようにさせる。」「掛け声は出さない（引き技時の発声は認める）。」「審判員はつばぜり合いを解消しない場合は、ただちに「分かれ」を宣告する。」等の対策を講じて試合を実施する。
- ・会場入場者には、マスクの着用を義務化する。
- ・アルコール消毒液を設置する。  
※会場で使用する消毒液（役員・審判の手指、机・椅子の消毒用）については、競技部で用意する。  
選手の使用分については、できる限り各校・各自で準備するよう協力を願う。
- ・大会の補助役員となる生徒以外は、来場させず、自宅待機をさせる等の配慮をする。
- ・本大会は、無観客で実施する。（参加校応援者の入場は認めない。）
- ・男女の集合時間を分けて開催し、会場内に入っている人数を減らす。  
（例：1日目は午前を女子、午後を男子として、時間差で大会を開催する。）  
※2日目は試合数も少なく、参加校数も少ないので同時入場を行うが、男女選手同士の待機場所を分けて、できる限り接触をさせないように配慮する。
- ・宮城体育館での選手荷物置き場は、宮城中体育館も使用し、学校ごとに指定された場所に置く。
- ・両日共に健康記録表（一週間前の様子が確認できるもの）を用意する。  
また、各会場指定の健康状態申告書を全員（生徒・顧問・役員・審判含め）提出すること。
- ・各家庭で確早朝の検温を行い、引率の顧問が確認する。  
※場合によっては、会場で検温を行う。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として、給水ボトル等の共用は行わない。

## ○熱中症対策について

- ・面マスクとフェイスガードを着用しての試合になるので、試合中の（代表戦に入ったら）休憩を早めにとり、水分補給をしっかり行わせる。
- ・熱中症対策の水分補給時であっても、給水ボトル等の共用は行わない。